

令和4年度入学生から

笠商変わります!

Next Stage! 新たな扉が今開く



学科改編

ビジネス情報科



笠商の学び



ICT(情報通信技術)の活用を通して、**ビジネス**に求められる知識・技術を実習や体験的学習を通じて学びます。



地域の**ビジネス**リーダーや職場の**IT**リーダーを目指します。



笠岡商業高等学校における学科改編について【Q&A】

Q 1 ビジネス情報科になって、何が変わるのですか？

(A 1)

1学科になることで、学校全体が一体となった学びを充実させるとともに、ICT（情報通信技術）を活用した商業教育をより充実させた教育活動を実施します。例えば、地域経済分析システム「RESAS」等を活用したデータサイエンスの学習、電子開示システム「EDINET」等での企業研究、ソフトウェア「EC-CUBE」を活用した模擬取引などを行います。また、地元企業のWebページの制作等にも取り組む予定であり、地域をフィールドとした学習も充実させます。

Q 2 なぜ学科改編をしたのですか？

(A 2)

今後の情報社会への対応や、地元からのニーズを踏まえ、これからのビジネスに不可欠なICTの活用を通して、ビジネス学習を深めるとともに、地域との連携による実践的な活動を行うことにより、情報を適切に利用し管理する力や企画力、コミュニケーション力の育成を図り、地域のビジネスリーダーや職場のITリーダーとして活躍できる人材を育成します。これらの力を生徒全員に身に付けさせるため、2学科で分かれたままよりも1学科に改編して教育活動を行う方が、生徒の活動の幅も広がると考えました。

Q 3 学科名に「情報」がついていますが、旧情報処理科の学びが中心になるのですか？（旧商業科の学びはなくなるのですか）

(A 3)

商業科目のうち、情報系の授業を多く開設する予定ですが、それと同時に、その他の商業科目についても、ICTを活用しながら幅広く学べるようになります。

Q 4 定員は変わらないのですか？

(A 4)

今までと変わらず1学級40人が標準ですが、募集定員の10%については、県内の受検者とは別枠で県外より募集します。今年度の定員については、中卒者数の推移や志願者数等を踏まえ、令和3年10月に正式に公表することになっています。